

癌患者や家族を全面的にサポートする「ホスピス外来」を2月に開設

函館おしま病院理事長・院長 福德 雅章



写真は函館おしま病院のホスピス病棟

◆ホスピス外来開設の理由

当院では、平成十六年四月からホスピスを開設し、さらに外来や在宅でも末期がんの方を支援してきました。そのような中、さまざま

まな問題点が浮き彫りとなりました。

それは、末期である、なにかに関わらず、なかなか疼痛などの症状がコントロールされずに苦しんでいる方がいるということ。また、がんを患いながら、精神的苦痛（不安、恐怖など）を抱えている方がいるということ。さらに、それらを主治医になかなか相談できないでいる方も多いということ。また、できる限り在宅で過ごしたいが、それは難しいと考えている方が多いということ、などです。

いずれも、主治医とのコミュニケーションがうまく図れないことが多いのが原因であることが多いのですが、確かに、そういった方が多いのは事実です。

このようなさまざまな問題を抱えている患者や家族が、ホスピスへの入院相談を含めて、どうしたらいいのか迷いながら、私どもの病院に相談に訪れる場合が結構ありました。こういった現実を踏まえて、そのような方たちを全面的にサポートしていく体制をより整備していくということか

ら、ホスピス外来という診療枠を設けました。実際、このような患者様の診療には、通常の診療の枠だけでは、十分な時間を持てないことが多いので、原則として初回（初診）はこのホスピス外来で対応していきたいと思っています。もちろん、今までの治療医（主治医）との連携を図っていくことは大原則と考えております。

◆ホスピス外来での実際

なるべく時間をかけて病状などの問題点をお聞きし、また患者様やご家族の思いに傾聴、共感し、疼痛などの症状コントロール、精神的ケアをしていきたいと思っています。また、将来的にホスピスへの入院を考えていたり、在宅でのホスピスを希望している方も、可能な限り、一度お越しいただこうと思っています。

◆ホスピス相談について

今までもMSW（メデイカルソーシャルワーカー）が中心となつて、ホスピス入院相談を含めて、がん患

者及び家族のさまざまな相談に対応してきました。時には、医師が対応することもありました。この度、ホスピス外来開設にあたり、患者本人の場合にはホスピス外来で医師が対応することとなりましたが、家族が相談される場合（ホスピス入院相談、ホスピス外来相談、告知について、病状説明についての疑問、在宅ホスピスについてなど）は従来どおり、MSWが対応し、より専門的な医学的知識が求められた場合には、ホスピスケア認定看護師、もしくは、必要に応じて医師も対応することとしました。

- 1) ホスピス外来、ホスピス相談はいずれも予約制
※予約受付時間（病院代表）
・月～水・木；10時～16時
・木・土；10時～12時
- 2) ホスピス外来
①診察日；毎週火曜日13時半から（1日3名程度）
②保険診療